


おためし サテライト オフィス



錦江町が誕生して11年。

平成27年に8100人余りいた当町の人口が、なにも手を打たなければ、20年後には5430人余りに減少するという人口予想が出ています。

このまま深刻な担い手不足が続けば、「集落機能」「地域経済」「教育環境」「地域福祉」「労働力」「公共サービス」などに大きな影を落とすことが考えられます。未来の子どもたちのために今なにができるのか。

サテライト オフィスとは？

企業（会社）の本社から離れた場所に事務所を置き、高速インターネット回線などを利用して仕事をする新たな働き方のことで、簡単に言えば会社へは行かずに、自然なかで仕事ができる「新しい働き方」のことです。

企業にとっては、賃料の安い空き家などを活用することで大規模な設備投資を必要とせず、社員にとっても自然に囲まれた事務所で働くことで集中力や生産性が向上するようです。

このほか、長時間の通勤から解放されることで時間を有効活用できることや、社員のストレスが軽減されるなど多数のメリットがあります。

また、都市部では人材確保が課題となっていますが、

子どもたちにつなぐ未来

サテライトオフィスは、現在の子どもたちにとって将来の仕事を考える貴重な機会になると考えています。

通信技術の発達により都市部でなくてもどこでも仕事ができる企業が増えています。

特に企画・開発といった職種では、農林水産業や福祉など地域の課題を人工知能などで解決するための実証実験のために積極的に地方に進出し、世界各国と連携し開発を進めています。この動きは、国も積極的に推進しているところ

です。
このような新分野の仕事を身近で感じることが、子どもたちの将来の選択肢を広げることにつながりますし、何より世界を相手に未来のために働いている若者たちが集まる環境は、子どもたちに多くの

ちの未来のために